



2025年12月1日

各位

会社名 AppBank株式会社
代表者名 代表取締役社長 白石 充三
(コード番号：6177 東証グロース)
問合せ先 管理部 長 渡邊 泰弘
(TEL. 03-6302-0561)

「Out of KidZania in 富士山ジビエセンターDEAR DEER」開催に関するお知らせ

当社は、当社が実施事業者として選定されております「農林水産省 令和7年度 鳥獣被害防止総合対策交付金（全国ジビエプロモーション事業）のうちジビエ需要拡大・普及推進事業」の一環として、株式会社ふじよしだまちづくり公社（本社：山梨県富士吉田市、代表取締役：堀内 茂、以下 ふじよしだまちづくり公社）との共催で、こどもの職業・社会体験施設「キッザニア」の企画・運営を行う KCJ GROUP 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：圓谷 道成、以下 KCJ GROUP）企画・協力のもと、キッザニアの街を飛び出して実社会で仕事を体験できるプログラム「Out of KidZania in 富士山ジビエセンターDEAR DEER」（以下 本イベント）を、2026年1月17日（土）開催いたしますので、お知らせいたします。

これにあわせて、12月1日（月）より参加申込の受付を専用サイトにて開始します。

記

1. 本件概要と目的

当社は、2024年3月の第12回定時株主総会及びその後に開催した臨時取締役会にて承認された新経営体制の元、資本業務提携先との協業の推進を軸に、業績拡大と株主価値の向上を目指しております。現在は、「IPとAXで、まちの魅力を世界へ」をビジョンに掲げ、IPコンテンツとAIソリューションを活用した「IP×AX」戦略を軸に、地域の持つ魅力的なアセットを活用した様々な事業開発を進めております。

本プロジェクトでは、イベントで子ども達は、富士山ジビエセンターDEAR DEERにて、鳥獣被害の現状や対策について学んだあと、捕獲した野生鳥獣の利活用として、鹿肉ソーセージづくりや鹿革を使ったオリジナルコインケース作りを体験します。体験を通じて、駆除するだけでなく地域資源として利活用されるジビエ事業やそれに携わる仕事への理解を深めます。

ふじよしだまちづくり公社、AppBankおよびKCJ GROUPは、本イベントを通して、将来の担い手である子ども達が、ジビエという地域特有の資源について、またそれに関わる職

業への理解を深めるとともに、働くことの楽しさや難しさ、社会貢献の喜びを感じ、将来の選択肢を広げていく貴重な機会となることを期待しています。

なお、子ども達の体験の様子は、ジビエのポータルサイト「ジビエト」において記事として発信します。

<開催概要>

名称：Out of KidZania in 富士山ジビエセンターDEAR DEER

実施日：2026年1月17日（土）

時間：都内8:00集合/19:00解散予定 ※体験は休憩をはさみ6時間程度

会場：富士山ジビエセンターDEAR DEER（山梨県富士吉田市）

対象：小学4年生～中学3年生

※集合/解散場所にて保護者の送迎が必要です。

※会場との往復は貸切バス利用です。キッザニアのスタッフが同行します。

参加数：24名 ※事前申込による選考

参加費：1,500円/人

内容：鳥獣被害の現状や対策を学ぶフィールドワーク、鹿肉ソーセージ作りや鹿肉ホットドックの昼食、鹿革を使ったコインケース作りを体験してジビエ事業について学び、最後に気づきをまとめます。

申込期間：2025年12月1日（月）10:00～12月14日（日）23:59

専用サイト：<https://www.kidzania.jp/outof/news/17654>

イベント共催：ふじよしだまちづくり公社/AppBank

イベント企画・協力：KCJ GROUP（キッザニア ジャパン）

備考：ジビエト及び本イベントは「農林水産省 令和7年度 鳥獣被害防止総合対策交付金（全国ジビエプロモーション事業）」による支援を受けています。

■ふじよしだまちづくり公社の概要

会社名：株式会社 ふじよしだまちづくり公社

設立：2023年6月

代表者：代表取締役 堀内 茂

所在地：山梨県富士吉田市下吉田2-31-14 真田ビル2階

事業概要：富士吉田市中心市街地の活性化、観光振興、地域経済の活性化

URL：<https://fujiyoshida-machidukuri.com/>

■KCJ GROUP／キッザニア ジャパンの概要

会社名：KCJ GROUP 株式会社

設立：2004年9月

代表者：代表取締役社 圓谷 道成

所在地：東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア3階

事業概要：こどもの職業・社会体験施設「キッザニア」の企画、運営、開発

URL：<https://www.kidzania.jp/>

■富士山ジビエセンターDEAR DEER（ディアディア）について



富士山麓で捕獲された有害鳥獣を“地域の恵み”へ変えるジビエ加工施設。国産ジビエ認証を取得した衛生的な施設で、ソーセージやハムなど、安心・安全なジビエ製品を製造しています。

URL : <https://mtfuji-deardeer.com/>

■ジビエトについて



ジビエの情報を発信するポータルサイトです。国産のシカ肉・イノシシ肉を提供する飲食店や、ジビエのイベント、皮革製品、ペットフード等の情報を発信しています

URL : <https://gibierto.jp/>

■Out of KidZania（アウト オブ キッズニア）について

子ども達がキッズニアの中で通常体験している仕事からさらに一步踏み込んで、実社会の仕事を体験したり、そこで働く人たちのインタビューを行ったりするプログラムです。これまでも多くの子ども達が、その地域ならではの職業や企業・団体、行政機関などさまざまな業種の仕事を体験してきました。このような体験を通して、子ども達が“働くこと”についてさまざまな発見をし、好奇心・探求心を湧き立たせ、実社会でも社会を楽しく学ぶことにより、子ども達の世界がより一層広がることを目指しています。

URL : https://www.kidzania.jp/outof_info/

■鳥獣被害防止総合対策交付金（全国ジビエプロモーション事業）の概要

鳥獣による農林水産業等に係る被害については、鳥獣の生息分布域の拡大、農山漁村における過疎化や高齢化の進展による耕作放棄地の増加等に伴い、中山間地域等を中心に全国的に深刻化しています。また、鳥獣による農林水産業等に係る被害は、農林漁業者の経営意欲の低下等を通じて、耕作放棄地の増加等をもたらし、これが更なる被害を招く悪循環を生じさせています。

鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号。）第10条の2では、国は、捕獲等鳥獣の有効利用の促進を図るため、需要の開拓の取組等に対する支援等の措置を講ずるものとされています。

全国ジビエプロモーション事業は、この一環として、捕獲鳥獣を利用した食肉（ジビエ）、ペットフード又は皮革等の全国的な消費拡大を図るため、キャンペーン期間を設定した協賛飲食店等でのフェア開催やジビエ関連情報の発信等の取組を実施するものです。

■ジビエ需要拡大・普及推進事業の概要

全国ジビエプロモーション事業の中でも、特にメディアサイトや動画、関連イベントの開催等を通じて、社会に対して広く情報発信を行い、ジビエに関する認知と関心の拡大することで、全国的なジビエ等の消費拡大を図る取組です。

・事業実施期間：2025年7月4日～2026年3月31日

2. 今後の見通し

今後も、当社独自の展開及び資本業務提携先との協業等を通じて、多くの取り組みを進めていく方針です。なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微であります。

以上